



会長就任にあたって

株式会社 HGST Japan 代表取締役 高野公史



このたび、理事会からご推挙頂き会長に就任致しました。宜しく願い申し上げます。

IDEMA Japan は 30 年の歴史も持つ素晴らしい組織です。発足当時はハードディスクが大きく発展していた時代であり、業界内での競合も激しかったと記憶しております。そのような中、ストレージの更なる発展を目指して技術・ビジネス両面で自由闊達な議論が出来る場を提供された諸先輩方々の熱い思いに対して、深く敬意を表します。

時代は今、これまで以上にデータストレージの重要性が増しております。ビットコストの低減だけではなく、利便性、安全性、経済性を追求したデバイス、システムの開発が進んでいます。このような環境の中、今後のストレージ産業の成長を議論する場として IDEMA Japan を再定義したいと考えております。理事会の皆様とも議論して新たに定めた Vision と Focus は以下の通りです。

Vision: We enhance IDEMA core competencies to organize technology innovations which enable sustaining growth of data storage infrastructure

Focus:

1. The future of HDD is HDD: Energy assist recording to enhance magnetic recording capability
2. Cold Storage Opportunity: From device level to system level
3. Social Responsibility: Green initiative to align SDGs

まず、ハードディスクの重要性を改めて強調したいと思います。ハードディスクは誕生から 60 年以上経っておりますが、未だに弛むことのない進化を続けております。このストレージデバイスが無かったら、我々の生活の利便性が大きく損なわれていた事は間違いありません。IDEMA Japan では、ハードディスクの次の 60 年の成長を見据えながら、幅広い議論を展開していく必要があると認識しております。現在、ASRC の枠組みで将来に向けたロードマップの議論が進められておりますが、業界の意見を纏めて将来にチャレンジしていく事が大変重要であると認識しております。

次に、飛躍的な発展が期待されるコールドストレージの成長と新たな可能性を議論していく事が重要だと考えております。デバイスレベルからシステムレベルまで、幅広くフレキシブルな議論が出来る場を提供して行きたいと考えております。

最後に、社会貢献です。より安全で安心な社会の基盤を固めていくために、ストレージの役割は非常に重要です。監視カメラの領域から自然災害、事件・事故に遭遇したデバイスのデータ復旧、社会の不安定性から来る原材料の確保リスクなど様々な観点から価値のある議論を進めて行きたいと考えております。社会に貢献できる IDEMA Japan を皆様と一緒に再構築したい会員の皆様との議論を深めて、と願っております。

新しい形でのシンポジウム、セミナー、会員企業間の現地見学会など、これまでになかった企画も盛り込みながら会員の皆様、あるいは皆様同士の議論を深めて、IDEMA Japan を活性化して参りたいと存じます。引き続き皆様のご支援、ご鞭撻のほど何卒宜しく願い申し上げます。